

# 一般質問

納の見通し、納税組合の意義等、今後の対応について伺います。

**市長** 景気の悪化による影響は来年度になると表面化してくると認識しています。特に法人市民税の法人税割が相当程度減少することを予想しております。滞納の対応については不誠実な滞納の場合、財産調査を実施し法に基づく滞納処分を着実に実施することが税負担の公平を確保することが重要だと認識しています。納税組合は法に基づく地区住民の任意組織であり納税思想の高揚や税知識普及を計ることを目的としております。

**質問** 胆沢区内3中学校生徒数も年々減少傾向であり、適正規模について教育委員会の所見を伺います。また、21年度で閉校する県立胆沢高校の跡地が、胆沢区3中学校統合の適地と考えますが所見を伺います。

**市長** 中学校の適正規模は1校当たり12学級から18学級とし、許容範囲として1学年2学級、合計6学級以上あれば妥当としています。胆沢高校跡地は位置的に中心であり参考にしますが校地の広さに課題があり検討してまいります。今後学校再編検討委員会を立ち上げ広く市民の意見を尊重してまいります。

○奥州市における緊急連絡網の実情について  
○緊急事態におけるヘリポートの体制について  
○施設管理の一元化について



おいかわ としゆき  
及川 俊行  
議員

**質問** 消防本部と消防団への緊急連絡網について伺います。

**市長** 消防本部から順次指令システムにより目標物や方位指示の情報を伝達され現場に集結しています。消防本部無線は、江刺区、胆沢区において無線機の違いから傍受出来ないため、消防本部無線の専用受信機を早急に準備します。

**質問** 市と消防団の緊急連絡網について伺います。

**市長** 各消防団が所持している無線機を支所担当課にも配備して連絡を取っております。

**質問** 独居老人世帯の緊急連絡網について伺います。

**市長** 高齢者地域生活サポート事業としてコールサポートセンターを設け、独居老人など見回りが必要な高齢者を対象に、専用の緊急通報装置を貸与し、24時間体制で通信しております。

**質問** 緊急時におけるヘリポートの現状について伺います。



高機能消防指令センター（水沢区）

**市長** 市の防災計画で市内16か所をヘリポート及び補給基地としていますが、災害拠点病院のアクセスや地域バランス等を考慮し、消防本部や県防災航空隊の意見を得ながら見直しを検討してまいります。

**質問** 施設管理一元化について伺います。

**市長** 公の施設管理運営方法は区ごとに違っていて、市として統一した考え方で運営して行く事が必要であります。スポーツ施設は教育委員会、農林部、都市整備部等の所管となっております。統一については申請書用紙の統

一化や、コンピュータによる施設予約システム化など市民が利用しやすい環境整備を心掛けます。

○水沢区等の保健推進委員を、地区の実情にあった対応をすべきでは



おいかわ よしお  
及川 善男  
議員

**質問** 市長は、来年度から水沢区と前沢区、胆沢区で保健推進委員を委嘱せずに廃止し、衣川区のみ存続させる方針です。江刺区には合併前から保健推進委員制度がなく、健康増進サポーターが地域の中で活動していると言われています。この間、地域の保健活動を推進する上で、保健推進委員の皆さんが果たしてきた役割は大きいと思います。廃止するのは何故か伺います。

**市長** 社会情勢が変わったため、保健推進委員の設置目的である、地域活動ができなくなっています。今後は、健康増進サポーターを養成していきます。

**質問** 奥州市の死因割合を見ますとガン死亡が最も高く、全国や県平均を上回っています。ガンは、早期発見、早期治療によって早世